【情報公開文書】

作成日2026年　1月　26日

受付番号：I2025-441
課題名：当院における心電図検査のパニック所見の追跡

1. 研究の対象
2020 年 7 月 1 日～2023 年 7 月 1 日までに当院検査部で心電図検査を実施し、パニック所見として報告された方

2. 研究期間
研究実施許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日

3. 情報の利用を開始する予定日
当院で情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日：　2026 年　3 月　1 日
提供開始予定日：　該当なし

4. 研究目的
「パニック所見」とは、命に関わる可能性がある非常に危険な状態を示す検査結果のことです。すぐに治療を始めれば助かる可能性がありますが、医師の診察だけでは見つけにくく、検査によって初めて分かる場合があります。
現在のところ、心電図検査におけるパニック所見について日本国内で統一された基準やガイドラインはなく、はっきりとした定義は決まっていません。
そこで、当院では、パニック所見が報告された後に医師が対応し、治療につなげることができていたかを調べることで、当院の検査部が定めているパニック所見の基準や運用が妥当かどうかを検討していきます。

5. 研究方法
① 2020 年 7 月 1 日から 2023 年 7 月 1 日までに行われた心電図検査で、パニック所見が報告された後に、医師がどのような対応をしたかを、電子カルテの記録をもとに調べます。患者さんに新たな検査を行うことはありません。
② 対応方法やパニック所見を種類ごとにまとめ、当院で定めているパニック所見の報告方法や基準が適切かどうかを検討します。
③ 研究結果は学会などで発表し、全国の医療機関と基準や対応方法について共有します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類
情報：該当日の心電図所見、病歴、パニック所見報告後の治療介入の有無、診察日等

7. 外部への試料・情報の提供
該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は検査部運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：東京科学大学病院　検査部　花田　彩加
連絡先：03-5803-5625　hanada.ayaka@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学大学院医歯学総合研究科　臨床検査医学分野
東京科学大学病院　検査部
佐々木　宏治

研究代表者：東京科学大学大学院医歯学総合研究科　臨床検査医学分野
東京科学大学病院　検査部
佐々木　宏治

11. 苦情窓口

東京科学大学　研究推進部研究基盤推進課　生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）